

ヒヤリハット 報告書

平成 年 月 日報告

発生日時	平成 年 月 日					
区 分	注射 与薬 輸血 転倒 転落 処置 () 食事 調剤 チューブ管理 離院離棟 検査 () 熱傷 接遇 その他 ()					
患者情報	ID番号		性 別	男・女	年 齢	歳 ヶ月
	病 名					
	認識力	障害無し 認知症 睡眠中 薬剤の影響下 せん妄状態 その他 ()				
	所 属	診療科 (産婦人科) 外来 ・ 入院 () ・ 特定患者に関与しない				
発生場所	病棟 (母子センター 病棟) 外来 (科外来) 中材 手術室 薬剤科 栄養管理室 機能訓練室 事務部 放射線科 (一般・R I ・ C T ・ M R I ・ 治療室) 洗濯室 ポイラー 臨床検査科 (血液・細菌・牛体) その他 ()					
発生時の状況	勤務状況	日勤 (直) 深夜勤 準夜勤 当直 その他 ()				
	業務状態	超多忙 多忙 普通 余裕 その他 ()				
	身体的状況	健康 疲労 睡眠不足 体調不良 その他 ()				
	心理的状況	普通 あせり 緊張 いろいろ 他に気を取られていた その他 ()				
ヒヤリハットの状況と対応						
原因・誘因 (複数可)	確認不足 観察不足 知識不足 技術不足 配慮不足 思いこみ うっかり 状態把握不足 情報(伝達)不足 記録の不備 計画の不足 説明不足 患者・家族の理解不十分 指示ミス 指示受けミス 設備・器械の不備 環境の不備 名称の類似 手順・ルールを怠った 教育の不足 マニュアルの不備 その他 ()					
説明及び患者・家族の反応	説明の有無 (有 ・ 無) (患者へ ・ 家族へ) 患者・家族の反応					
事故防止できた理由	再度確認した 他職員の指摘 マニュアルを守った 説明を十分に行っていた 情報をとらえていた 意識して観察していた その他 ()					
立案した具体策 思い込みや先入観による調剤と監査が原因なので、とにかく初心に戻って確認をする。						
報 告 者	(発見者・当事者) 職種経験年数 年 月 職場配属年数 年 月					
レベル判定	0 : 患者には実施されなかった 1 : 患者に被害なし 2 : 影響あり、影響の可能性あり 3 a : 簡単な治療・処置が必要					